

平成27年度日本水産工学会春季学術講演会 プログラム
 平成27年5月29日(金)～5月30日(土)、長崎大学水産学部

第一会場 : 1階第一講義室
 第二会場 : 1階第二講義室
 休憩・展示室 : 2階第三講義室

【29日(金)】

第一会場(1階第一講義室)			第二会場(1階第二講義室)		
13:30 ～13:45	一般 1-1	漁場整備の効果把握に向けた水深帯別の付着生物量と環境要因の把握 伊藤 靖・○松本卓也・深瀬一之	一般 2-1	漁船船団の航行時最適配置についてー第3報:航走波紋と最適配置の関係ー ○升也利一・三好 潤・川田忠宏	
13:45 ～14:00	一般 1-2	人工マウンド礁におけるイサキの行動解析 ○伊藤 靖・松本卓也・吉田 司・中村憲司	一般 2-2	小型カメラで観察した定置網内におけるクラゲ類及び漁獲対象生物の行動 ○越智洋介・上野陽一郎・山崎慎太郎・藤田 薫・山崎 淳	
14:00 ～14:15	一般 1-3	木材増殖礁の増殖機能の評価と事業化に向けての課題 伊藤 靖・○柴田早苗・吉永 聡	一般 2-3	高密度ポリエチレンパイプを用いた定置場網システムに関する水槽模型実験 ○北澤大樹・水上洋一・張 俊波・細川貴志・鈴木勝也	
14:15 ～14:30	一般 1-4	神恵内村(かもえないむら)における「藻場 LAND事業」 ○村上俊哉・板倉宏至・阿部 賢・土門史記・田保知佳・西川明豪	一般 2-4	植食性魚類を対象とした刺網の漁獲試験ー漁具と漁場環境の影響解析ー 山口 功・○舛田大作・木下猛虎・松下吉樹	
14:30 ～14:45	一般 1-5	魚礁設置後の時間経過と蛸集の変化について ○山内繁樹・桑原久実・田中禎孝・河合百華・南部亮元	一般 2-5	長崎県内主要定置網の漁具構造について ○山口恭弘・岸本将太・鈴木麻知世・岡野勝幸	
14:45 ～15:00	一般 1-6	永豊沖合魚礁における魚類蛸集効果の検証-マルチビームを用いた調査事例- ○小畑雄大・岩倉祐二・小池 哲・綿貫 啓・斎藤義裕・越後谷 健	一般 2-6	漁業用軽労化支援スーツの改良-1 新たな腰部支持機構を搭載したスーツの試作 ○高橋秀行・田中孝之・吉成 哲・前田大輔・江森浩司・鈴木善人・今村由芽子	
15:00 ～15:15	一般 1-7	小型トロールによるズワイガニ・アカガレイ保護育成礁の効果 ○三浦 浩・伊藤 靖・岡本繁好・向井哲也	一般 2-7	漁業用軽労化支援スーツの改良-2 改良型スーツの評価試験 ○高橋秀行・田中孝之・吉成 哲・前田大輔・江森浩司・鈴木善人・今村由芽子	
15:15 ～15:30	一般 1-8	流れに対する魚礁配列の影響 ○小池志門・大竹臣哉	一般 2-8	目視による大型クラゲの個体数体積密度の推定方法の検討 ○本多直人・井口直樹・馬場 孝・松裏知彦	
15:30 ～15:45	休 憩				
15:45 ～16:00	一般 1-9	岡山県のアマモ場造成の取組み I -アマモ場の現状とアマモ場造成事業の概要について- ○後藤真樹・岡崎知治・元谷 剛	一般 2-9	二艘旋網漁船の波浪中流体力と船体動揺の計算 -第1報:ラディエーション流体力の計算- ○升也利一	
16:00 ～16:15	一般 1-10	岡山県のアマモ場造成の取組み II -造成アマモ場の現状及び評価について- ○岡崎知治・後藤真樹・元谷 剛	一般 2-10	沿岸構造物における環境共生機能の診断手法 佐藤 仁・○三上信雄・酒向章哲・佐藤 誠・綿貫 啓・大橋正臣	
16:15 ～16:30	一般 1-11	岡山県のアマモ場造成の取組み III -アマモ場の造成過程における魚類相の変化- ○元谷 剛・後藤真樹・岡崎知治	一般 2-11	水産物輸出に向けた漁港整備に関する一考察 ○林 浩志・浪川珠乃・高原裕一・伊藤朋之	
16:30 ～16:45	一般 1-12	攪拌機能を有する人工魚礁の実海域機能評価 中村明日人・○石橋一樹・市村 康・末永慶寛・山地功二・堀越徹矢			
16:45 ～17:00	一般 1-13	マルチビームソナーを用いた漁場環境と魚群分布の解析 ○小池 哲・小畑雄大・岩倉祐二・中野健一	一般 2-13	水産物の付加価値向上とトレーサビリティ ○清野聡子・長野晋平・丹羽 真・馬場康平・長野 章	
17:00 ～17:15	一般 1-14	赤潮・貝毒対策への土的手法の可能性に関する一考察 ○峰 寛明・長野 章・末永茂則・今井一郎	一般 2-14	漁港施設の点検システムとその活用 ○長野晋平・不動雅之・藤田孝康・丹羽 真・長野 章	
17:15 ～17:30	一般 1-15	貝殻構造物の水深別増殖効果の検討 ○木代寛士・藤澤真也・加村 聡・大西弘泰・井上弘之			

【30日(土)】

平成27年度日本水産工学会春季学術講演会 プログラム
平成27年5月29日(金)～5月30日(土)、長崎大学水産学部

ご参加の際には必ず受付をしてくださいますようお願いいたします。
講演時間は計15分(発表12分、質疑3分)。10分で予鈴、定刻12分で終鈴。
活発な質疑応答を望みますが、発表時間の制約もあり、さらなる質疑は各発表の
合間、懇親会場等で個々にお願ひします。

第一会場 : 1階第一講義室
第二会場 : 1階第二講義室
休憩・展示室 : 2階第三講義室

		第一会場(1階第一講義室)	
9:00 ～9:15	学生 1	福井県越前海岸におけるバフウニの漁場環境における一考察 大竹臣哉・吉川泰広・○大西謙吾・小池志門	
9:15 ～9:30	学生 2	CFDを用いた飼育水槽内の流れの解析 ○小竹元己・木村暢夫・安間洋樹・田丸 修・高橋勇樹	
9:30 ～9:45	学生 3	小型底びき網の抵抗軽減に関する模型実験 ○山根万知・江幡恵吾・田中秀治・井上喜洋・玉井大策	
9:45 ～10:00	学生 4	定置網内における海亀の前肢のはばたき周波数と、生じる力について ○塩澤舞香・塩出大輔・内田圭一・秋山清二・胡 夫祥・東海 正・平井良夫・小林真人	
10:00 ～10:15	学生 5	九州主要河川における上下分断がアユPlecoglossus altivelis の生息に与える影響 ○吉田和樹・山口恭弘・山口明利	
10:15 ～10:30		休 憩	
10:30 ～10:45	一般 1-16	不規則波による底面最大流速の算定法 ○川俣 茂・小林 学	
10:45 ～11:00	一般 1-17	3Dデジタルカメラを用いたイセエビの頭胸甲長の推定法の実験的検討 ○川俣 茂・田井野清也	
11:00 ～11:15	一般 1-18	貝類増産のための施肥具の改良～実用的施肥具への改良～ 山本民次・中原真哉・平岡喜代典・大道優平・清田忠志・横山信昭・○小林陽介	
11:15 ～11:30	一般 1-19	サンゴ砂礫場におけるサンゴ移植法について ○石田和敬・小松俊晶・片山悦治郎・水本 健・安藤 亘・西崎孝之・渡邊則仁	
11:30 ～11:45	一般 1-20	施肥材によるカキ増産の効果と適正施肥量の見積もり ○山本民次・中原真哉・平岡喜代典・大道優平・清田忠志・横山信昭	
11:45 ～12:00	一般 1-21	養殖マコンブ製品における製品等級の推定 ○藤井陽介・山下成治	
12:00 ～13:15		休 憩 (12:15～13:15 理事・評議委員会 大会議室)	
13:15 ～13:30	一般 1-22	植食性魚類ブダイの除去方法について ○中嶋 泰・桑原久実・西崎孝之・渡邊耕平	
13:30 ～13:45	一般 1-23	沖ノ鳥島礁内におけるサンゴの移植技術の開発 塚本拓人・川崎貴之・○山本秀一・安藤 亘・吉塚靖浩・西崎孝之・渡邊則仁	
13:45 ～14:00	一般 1-24	沖ノ鳥島におけるサンゴの現地種苗生産技術の開発 岡田 亘・塚本拓人・○山本秀一・鈴木 豪・林原 毅・安藤 亘・石岡 昇・西崎孝之・渡邊則仁	
14:00 ～14:15	一般 1-25	藻場における溶存態鉄の濃度 ○綿貫 啓・中嶋 泰・渡邊耕平・井本有治・西崎孝之・中井壮洋・安藤 亘	
14:15 ～14:30	一般 1-26	間伐材活用魚礁における間伐材の変化 ○石岡 昇・大竹臣哉・小池志門・本所稔基・岡 拓司・石田和敬・田所 悟	
14:30 ～14:45	一般 1-27	テーパ円柱の後流域に形成される時間平均流と非定常過程 ○瀬戸雅文・河端美香	
14:45 ～15:00	一般 1-28	溝付き消波ブロックの水産協調効果の評価に関する一考察 ○瀬戸雅文・巻口範人	

		第二会場(1階第二講義室)	
10:30 ～10:45	一般 2-15	鉄溶出施肥材を用いた瀬戸内海2箇所でのカキ生産促進効果の検討 ○中原真哉・大道優平・平岡喜代典・清田忠志・横山信昭・石田総和・山本民次	
10:45 ～11:00	一般 2-16	潮位の変動に伴う砂浜海岸汀線域の帯状分布域の対応 ○梶原直人・浅井貴恵・鈴木雄太・石山雄大・須田有輔	
11:00 ～11:15	一般 2-17	日本海北部海域の現地観測による秋季の水域環境 ○三森繁昭・大橋正臣・三上信雄・田保知佳・竹田尚弘	
11:15 ～11:30	一般 2-18	河川の影響を考慮した広域海浜変形シミュレーション 滑川 順・○中山哲毅・小林 学・門 安曇	
11:30 ～11:45	一般 2-19	沖合域における漂流ゴミの分布について ○東海 正・内田圭一・北門利英・磯辺篤彦・野田 明・林 敏史・濱田浩明・萩田隆一	
11:45 ～12:00	一般 2-20	全天日射量を用いた湿度推定に関する地点の特徴と地点補正值の導入 ○藤田伸二・山崎貴博・平田香織・蛭子遼太郎	
13:15 ～13:30	一般 2-21	ソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信による漁村地域の活性化 ○山下拓矢・佐々木洋介・佐藤大樹・鎌田昌弘・大島嘉織	
13:30 ～13:45	一般 2-22	韓国南海岸におけるCochlodinium polykrikoides赤潮の発生特徴 ○李 文沃・金 鍾圭・白 相鎬・金 炳国	
13:45 ～14:00	一般 2-23	色彩による鮮魚の品質推定支援モデルについて ○中村 誠・太田博光・西方 舟・明田川雅子・前田俊道	
14:00 ～14:15	一般 2-24	水産資源マネジメントへの空間情報の利活用に関する提案 ○小笠原 勇・井下恭次・金子俊幸	
14:15 ～14:30	一般 2-25	Numerical Study of the Upwelling and Circulation in Wakasa Bay Hwang-Ki Lee・Moon-Ock Lee・Jongkyu Kim・Shinya Otake	
14:30 ～14:45	一般 2-12	漁港建設業の社会貢献と将来見通し ○長野 章・田原正之・富田 宏・小金山 透・長野晋平	

15:00～16:45 総会・学会賞授賞式・受賞記念講演(4階大講義室)

17:30～19:30 懇親会(生協食堂)